

## 織笠地区で小正月行事「なごみ」 “悪いワラスはいねえがー”と家々回る

“悪いワラスはいねえがー”。1月15日夜、織笠地区では小正月行事の「なごみ」が行われ、恐ろしい表情をした鬼たちが家々を回りました。古き良き風習を伝えていこうと教育振興運動織笠地区実践協議会(昆尚人会長)が毎年行っているもので、小さい子どもたちには会員扮する鬼たちが大きな包丁と南京袋を手にした「ピーピー」と笛笛を鳴らしながら現れる場面は恐怖そのもの。暴れ回る鬼らを前に家族にしがみつき泣きじゃくる子も見られるなど、伝統の一夜は今年も強面な訪問者でにぎわいました。



## 山田空手道スポ少の初稽古 気合の突きや蹴りで寒さ吹き飛ばす

1月8日、山田空手道スポーツ少年団(佐々木<sup>ひろし</sup>博代表)では、初稽古を行いました。空手の上達と今年1年の稽古の安全を願って毎年行われているもので、真っ白な胴着に身を包んだ団員ら39人が、時折、雪がちらつく寒空の中で、町立武徳殿から山田八幡宮までの走り込みに続き、境内で基本形の練習や奉納演武を披露しました。境内では、厳しい寒さも吹き飛ばすかのような力強い突きや蹴りが繰り返され、気合も十分。「エイッ」という威勢の良い掛け声が何度も響き渡っていました。

## 山田中の打楽器三重奏が県大会で金賞 13年ぶりの東北大会出場へ

1月14日に奥州市で行われた第43回県アンサンブルコンテストの中学校部門で、山田中学校(佐々木<sup>ひろし</sup>秀毅校長・生徒318人)吹奏楽部の打楽器三重奏が、見事金賞を獲得し、13年ぶりとなる東北大会への切符を手に入れました。演奏を披露したのは中村<sup>みさき</sup>心咲さん(2年)と佐藤<sup>のぞみ</sup>希美さん(1年)、中村<sup>みはる</sup>心春さん(同)の3人。リーダーの中村心咲さんは「さらに技術を磨いて東北大会に臨みたいです。3人で呼吸を合わせて精いっぱい演奏してきます」と次のステージへ気持ちを集中させます。



左から中村<sup>みさき</sup>心咲さん(2年)、佐藤<sup>のぞみ</sup>希美さん(1年)、中村<sup>みはる</sup>心春さん(同)



## 船越小6年生が防災学習成果を発表 町民の意識向上を強く訴える

船越小学校(石川<sup>しゅうし</sup>修司校長・児童70人)の6年生15人は12月19日、町中央公民館大ホールで防災学習成果発表会を行いました。町と東京学芸大学が連携した取り組みの一環で行われたもので、児童らは防災無線、指定緊急避難所、総合防災訓練の3チームに分かれ、同大教員らの助言をもとにまとめてきた課題と解決策を説明。総合防災訓練チームは、訓練の大切さを伝えるチラシの活用で参加率を高めることなどを提案し、客席の約120人に向け「一緒に防災意識を高めましょう」と力強く訴えました。



# 町のわだい

今月の題字 佐藤 隼輔君 (山田小5年)



## 「北っ子の会」で餅つき大会 「ヨイショツ」の掛け声できね力強く

旧山田北小学区（旧山田北小学校）のPTA（親睦会）で組織する「北っこの会」(小野浩樹会長)では、1月15日に「新春餅つき大会」を行いました。地区住民同士の交流を深めようといわれたもので、会場の旧山田北小学校には地区民ら約50人が集合し、きねとうすを使った昔ながらの餅つきに挑戦。中には、参加者らの「ヨイショツ、ヨイショ」の掛け声に合わせて、力強くつき上げる力自慢の子どもたちも見られました。出来たての餅は早速、きなこ餅やのり餅にして味わい、参加した上野陽向汰君(12)は「重いきねで餅をつくの面白かったです」と、アツアツの餅をほおばっていました。

## 長崎の中野キヨさんが100歳に “3食しっかり”が元気の秘訣

12月20日に中野キヨさん(長崎)が100歳の誕生日を迎えました。同日、佐藤信逸町長が自宅を訪れ長寿を祝福。「これからも元気で長生きしてください」とあいさつし、賞状を手渡しました。中野さんは、織笠の落合地区出身で、結婚後は5人の子どもの恵まれ、夫の家業であるトンネル工事の仕事を手伝うため、北東北や北海道を回りながら子育てをされてきました。36歳で夫を亡くし苦勞しましたが、現在は長男家族と過ごしています。元気の秘訣は3食しっかり食べること。「好き嫌いもないですよ」とはつらつとした表情で話していました。

